

# 地域社会との緊密な連携を築こう

～ 地域全体で心身ともに健やかな子どもを育てよう ～

西尾市立一色南部小学校 P T A

## 1 学区及び学校の概要

本学区は、西尾市の南側に位置している。地場産業を中心として発展した地区の歴史は古く、地元に基づいたコミュニティが形成されている。そのため、地域の活動が盛んで、子どもたちの育成に理解があり協力的である。

一色南部小学校は、令和5年度から学校運営協議会を設置し、西尾市唯一のコミュニティ・スクールとして活動をしている。定期的に学校運営協議会を開催し、学校、地域、P T Aがどのように関わりながら、一色南部小学校の児童を育てていくかを検討している。

本校の児童数は201名、11学級の小規模校である。地域の方々や保護者が本校の卒業生という家庭も多く、学校への関心も高い。学校行事や授業参観、P T A行事、地域行事など、地域の方々や保護者の参加数も多く、学校活動にも協力的である。

## 2 研究のねらい

一色南部小学校は「かんがえる きたえる たすけあう」を校訓とし、学校とP T Aと地域が連携し、知・徳・体の調和のとれた子どもたちの心身ともに健やかな子どもの育成を目指している。また、地域行事や子ども会の活動も盛んであり、よりよい地区社会づくりを目指して精力的に活動を行い、子どもたちの育成に取り組んでいる。

そこで、コミュニティ・スクールとして「地域社会との緊密な連携を築こう」をテーマに、地域社会との連携を目指したP T A活動を積極的に推進することにより、地域社会とともに、子どもたちを心身ともに健やかに育てたいと考えた。

## 3 研究の仮説

地域社会と連携をしたP T A活動を推進し、地域全体で子どもたちを育てていくことが、心身ともに健やかな子どもたちを育てていくことにつながるのではないかと考えた。

## 4 研究の方法

学校と協力して進めている行事（資源回収、運動会、交通教室、校外での学習行事等）において、地域の方と子どもたちが接する機会を増やす。

## 5 研究の実践

### (1) 資源回収

P T A総務部会を中心に、資源回収を年3回実施することになっている。本年度も、第1回目は5月、第2回目は9月、第3回目は2月（実施予定）に実施した。事前に保護者や地域に資源回収の案内回覧を行った。しかし、資源回収の実施等連絡が徹底できないことが課題となっていた。そこで、学校運営協議会の場で各町内会長に相談したところ、地区の防災無線を利用させていただけることになった。各P T A役員が各町内会会長とともに、当日の朝に資源回収の実施連絡を行ったところ、地域からとても好評であった。「今まで回覧板だけでは、忘れてしまうことがあった。」「雨で中止かどうか分からなくて困ることがあった。しかし、今回みたいに放送が入ると安心して資源回収に参加できます。」などと、今までにない反響があった。また、集積場所となる学校では、児童やP T A、地域の方々が協力をし、運び込まれる資源の受け取りを行うなど、実りある資源回収となった。



## (2) 運動会

本校は、令和4年度から特別観覧席（子どもたちが競技や演技を行うときに優先して観覧できるエリア）を設けている。今年度も、特別観覧席を設け、PTA役員を中心に、そのエリアへの入退の誘導等を行っていただくことになった。その際に、昨年度実施した後で、「特別優先席エリアでも前に立たれてしまうと観覧がしづらくなってしまふ」という課題があった。そこで、PTA役員会で話し合ったところ、本年度は「エリア前方にブルーシートを敷き詰め、そこでの観覧する保護者は、座ったりしゃがんだりして観覧をしていただくこと」「自分の子どもの演技が終わったら、エリア内で場所を譲り合える呼びかけを行うこと」の2点が付け加わった。その2つの条件を加えた感想として、「とても見やすくなった。」「みんなで譲り合える雰囲気が良かった。」「場所取りでの苦勞していたのがうそのよう。」「安心して正面から競技や演技を見ることができた。」など、お褒めの言葉をいただいた。また、直接PTA役員の方に、感謝の言葉をかけられることが多くなったと、喜びの言葉ややりがいを感じていた。



## (3) 交通教室へ協力

本校では、小学校1年生が歩行訓練、2～4年生が自転車の実地訓練を行っている。西尾市の交通指導員、地区の交通指導員、警察官の協力を得て、道路の安全な歩き方や自転車の乗り方など、交通安全に役立てるねらいである。その際にPTA委員の方々に見守りを手伝っていただき、児童は交通安全についてよく理解することができた。

## (4) 親子ふれあい奉仕作業

本校では、PTA行事として、毎年「親子ふれあい奉仕作業」を実施している。親子で校庭の草取りを中心に行っている。しかし、ここ数年は、コロナ感染予防対策で活動ができなかった。また、樹木の選定などやりきれなく残念に感じているPTAの方が何人もいた。そこで、その声に答えようと、PTAだけでなく地域の方にも協力していただけないかと考え、学校運営協議会の時に、代表町内会長に協力を依頼した。今までは、親子で協力しながら自分たちの学校をきれいにすることを目的としていたが、本年度はそれに加えて地域を含め、みんなで学校をきれいにしていくことを目的として行った。参加されたPTAの方々は、「暑い中ではあるが、ここ数年で一番きれいになった。子どもたちも、安心して活動ができる。」「地域の方が参加していただけて、PTAと地域との距離感が縮まったと思う。」などと、やり終えた場所を見て全員がとても満足した様子だった。



## 6 研究の考察

子どもたちが地域の方々と接することで、家庭、学校以外の方とのつながりができ、地域に親しみをもつことができたように思う。そして、地域の方々に見守っていただけていると実感でき、心身ともに健やかに育つことができたと思う。

## 7 成果と今後の課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられたこともあり、コロナ前の活動ができるようになってきた。しかし、活動ができなかった期間も長かったため、活動をどのようにしていけばよいのかを模索しながらの活動であった。

今後も、地域社会との連携を進めることをPTA活動の一つの柱として、子どもたちの健全育成を進める活動を続けていきたい。